

地方創生関係交付金事業評価シート

	担当課名	建設産業課	事業No.	2
事業名	とくしま新未来産業のブランド創出とグローバル展開戦略			
目的	徳島県・徳島市と連携し、世界に誇る二つの青色「LED」と「阿波藍」を活用した新たなツーリズムの創出に向けたイベント開催や「ジャパンプルー・徳島」のプロモーション等に取り組む。			
実施内容	藍染め普及支援として次の事業を実施。【地方創生推進交付金事業】 1) 藍の館のPRを目的に藍染め製品作りワークショップ（中止） 2) 藍染ファッションショー「インディゴコレクション2020」（中止） 3) 藍染め製品でサービスが受けられる「“藍” deグルメ」の実施			
重要業績評価指標 (KPI)	指標	藍の館の年間入込客数		
	目標	35,000人（2024）←31,264人（2018）		
	実績	11,259人（2020）		
達成度	A：達成 B：概ね達成 C ：未達成			

【事業費と財源内訳】

（単位：円）

2020年度	計画額	実績額	交付金充当額	備考
事業費	6,000,000	247,993	123,996	事業費の1/2

【2020年度の取組と課題】

1)・2) については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 3) 県が指定する藍の日（7/24）及び藍推進月間（7月）に合わせ、藍染PRイベントを開催。 藍を日常に取り入れることを促進するイベントとして「“藍” deグルメ」を実施。 藍染め製品を身につけて協力店舗で食事等をする特典が受けられる。 実施期間7/16～8/16 参加店舗数27店舗 【課題】 1)～3) においていずれも評価検証の強化を行う必要がある。 また、交付金が無くても自走できるイベントとして事業の見直しが必要。

【今後の取組】

1) 2021年度からは「あいずみ藍工房」での実施を予定しており、新規顧客の獲得や藍に親しんでもらう機会の創出を図る。 2) 従来のファッションショーに限らず、イベントの魅力強化のため、地元商工業者や商工会等と連携を図る。 3) 従来のイベントにスタンプラリー事業を加え、参加意欲の増進、協力店舗間の相乗効果を図る。
--

※藍住町地方創生推進会議の意見

○令和3年5月に新たにオープンした「あいずみ藍工房」の活用をはじめ、従来のリアル参加に加え、ワークショップやファッションショーのオンライン化による阿波藍の普及啓発を推進する必要があると思います。 ○事業名には「グローバル展開戦略」が含まれているが、実施内容からは、町民・県民を対象にしているように思われる。グローバル展開戦略のためには、たとえば【今後の取り組み】2)は、地元商工業者や商工会等との連携ではなく、海外の商工業者や商工会等との連携が望ましいのではないだろうか。
